

ドイツでアパート生活をする際に必要な情報です。
日本とは違う点も多いのでご注意ください。

お預かりする敷金は保証金の役割となります。引越しでお部屋を出られる時は、入居した時の状態での返却をお願いいたします。家具の破損や壁の汚れ等がある場合は、修理・補修いただくか、その代金を敷金から差し引かせていただくことがありますので、お部屋の方は丁寧なご利用をお願いいたします。

1. アパートでの生活一般

ドイツでは、建物の中では基本的に静かにすごします。(例えば夕食時のレストランなどでも子供連れのドイツ人家族の姿を見ることが稀です。)ドイツ特有の暗黙の了解・習慣がいくつもあります。まずは静かにするその時間帯で、朝は6時、7時などかなり早い時間からある程度の騒音は許されますが、**夜は基本的には22時以降は静かにします。**

静かかうるさいかの騒音のレベルは、例えば掃除機とかシャワー、電動ドリルの音のレベルはうるさい方に分類されます。平日の早朝に掃除機をかけたりシャワーを浴びるのはOKですが、22時以降は控えるようにします。

但しこれもケースバイケースで、もしお隣さんが寛大な方であったり、その時間帯にいない方、あるいは耳の遠いお年寄りであるなどと運にも左右されますので、必要に迫られた時はまず一度試してみるという方法があります。

お隣や階下、時によっては上のアパートが耳のいい元気なお年寄りでしかも神経質な人の場合、うるさいと思われた時は壁から”コツコツ”と何かで壁をたたく音がする時がありますが、これは”うるさいですよ!”のサインなので気をつけましょう。ほうきなどの棒状のものでつついているのです。決して同じように”コツコツ”などと返事を返さないようにして下さい(笑)。

特に日曜日は静かにしましょう。宗教の関係から日曜日は休息の日です。電動ドリルの使用などはほぼ不可能です。運が悪ければ洗濯機を回したり掃除機をかけるだけでも注意を受けます。洗車場や商店も閉まっています。日曜日のモーター類の使用は基本的に諦めてください。

でも注意して周りに耳を傾けていると掃除機や洗濯機を使っている音も時々聞こえます。やはりケースバイケースで、住む場所の状況、つまりお隣さんや階下の人次第となります。

台所ですが、ドイツ人は日本人のようにあまり料理をしません。その証拠に例えばドイツの病院食は普通朝と夜は冷たいパン、パンにはさむこれまた冷たいハム・チーズのみで、温かいものが出るのは昼食の時だけです。

ドイツ人家庭では、日本人のように揚げ物や炒め物をほとんどしないため、台所がピッカピカです。よって日本人が長く住んで使った(ドイツ人にしてみると酷く汚れた)台所を見て驚いてしまうドイツ人の大家さんもいます。これは頻繁に掃除をするか、引越しで出て行く時に徹底的にきれいにするしかありません。

お風呂に関してですが、日本とは違って**水・お湯が使えるのは浴槽の中だけです。**浴槽の外は防水となっていないので、日本の浴槽のつもりで浴槽の外に水・お湯を出してしまうと下の階の天井などに染み出てきてしまいますので気をつけてください。ヨーロッパのホテルでは、浴室にその内容の注意書が日本語で書かれているところが多いので、どうやら日本人によるそのトラブルが多いようです。

浴槽にはカビが発生しやすいです。ドイツ人は日本人のように頻繁に入浴せずにシャワーで済ませますので、毎日お風呂に入っていると天井などによくカビが出てきます。これはドイツの浴室は密閉性が高いためと、防水加工された塗装が施されていないためですが、防水加工の施されたペイントは禁止されています。

カビを見つけた場合は、スーパーなどで売っている Biff Schimmel-Entferner というカビ取りスプレーが大変よく効き、スプレーをかけて 10 分ほどでカビが消えてしまいますのでお試しください。但し塩素が入っていて強いようですので、口、鼻、目に入らないように注意が必要です。もし入ってしまったらすぐにお医者さんに行きましょう。

洗濯物は外には干さないで下さい。洗濯物を外に干すと直ぐに管理人やお隣から注意を受けます。乾燥機を使って乾かすか、室内で折りたたみ式等の物干し台を使って干します。大きなスーパーなどで折りたたみ式の便利なタイプが売っています。ベランダは(少なくとも)外から見える部分はきれいにしておいて下さい。そうでないとやはり管理人やお隣から注意を受けます。

アパートに住んでいる間にあちこちと修理の必要が出てきます。アパートの修理代は基本的には店子さんが入った時に既にあったもので取り外しが簡単でないもの、配管、流し、便器などの消耗品は大家さん負担、そうでない電球などのものは店子さんですが、それ以外にも下記を目安にしてください。

大家側：水道の蛇口関係(但しパッキンは除く)、お風呂の浴槽、トイレの便器、窓やドア関係、暖房器具、壁の中に隠れている配管等(下水管の流しの排水溝 から建物中央の太い 10cm の下水管までの間は店子さん)。これらのものでも店子さんが何らかの手違いで壊してしまった場合は除きます。

店子側：照明器具一切(家具無の場合)、照明器具の電球類(家具付)、下水の詰まり処理。

2. ドアの自動ロック

ドイツのアパートのドアは普通、自動ロックになっていますので、カギを家の中に忘れて外に出てドアを閉めてしまいますと、中に入れなくなってしまいます。そのような時は緊急に鍵屋さんを呼ぶこととなりますが、平日の日中でもその費用は 100€ 近く、夜間や週末はさらにもっと費用がかかります。

呼び鍵を管理人さんに預けておけば安心ですが、それでもロックアウトの際には管理人さんのお仕事が発生してしまいますので、鍵は常に身体から離さないようにご注意ください。

3. 洗濯(機)

ドイツの洗濯機は、前面に洗濯物を入れたり取り出したりする丸い窓がある、時計回りに横回りするタイプです。洗剤を入れるところも前面上部にあり、左側か右側にある引き出しタイプです。" I " と " II " という記号が洗剤を入れるところの底についていることが多く、II は本洗いの洗剤を入れるところ、I は予備洗いをするための洗剤を入れるところを表しています。



ドイツの水道水は硬水が多いので、ソフターを使用しないと洗濯物がゴワゴワになってしまうため、ソフターがお勧めです。洗濯機の下の方にはフィルターが付いていますが、ここを 1~数ヶ月に一度掃除しないと、洗濯機が途中で止まってしまうことがあります。右の写真はソフター各種



洗濯機の下の方、右側あるいは左側に小さな扉のようなものがあり、そこを開けると時計回りの反対方向にまわすと出てくるフィルターが入っています。そこが詰まると洗濯機が途中で止まってしまうので、1~数ヶ月に一度は掃除をしてください。

洗濯機のカルキを落とすためには左の写真のようなカルキ取り専用洗剤がどこのスーパーでも売られていますが、普段の洗濯に使う洗剤に、カルキ取り成分が最初から含まれているものもあります。“gegen Kalk” や、“Kalkschutz” という単語が含まれているものがそれらの洗剤です。

4. ゴミに関して

多くのドイツのアパートでは、地下に数種類のゴミ箱が置いてあり、そのゴミ箱に各ゴミを捨てます。一部のアパートでは地下の代わりに地上の出入り口付近にゴミ箱が置いてあります。

ゴミ箱の種類:

- 黄色のゴミ箱 = プラスチック容器、梱包材、金属容器など。
- 青色のゴミ箱 = 紙のゴミ
- 茶色のゴミ箱 = 植物などの有機物
- 黒色のゴミ箱 = 生ゴミ、その他のゴミ

その他のゴミ:

- 電池 = スーパーや家電店のレジ周りに置いてある専用ゴミ箱
- 飲料水のビン = 街角に置いてある専用コンテナ
(透明、茶色、緑色に分かれています)
- 古着・古靴 = 同上
- 粗大ゴミ = 月に1度の回収で、町(指定業者)に

自分の部屋やキッチン等にためてからまとめて出すのではなく、こまめに出して下さい。

青いゴミ箱

新聞、雑誌類のゴミ専用です。

ダンボールや、かさばる紙製品は、100m先の市の専用ゴミコンテナに捨ててください。

黄色いゴミ箱

プラスチックや金属の再生ゴミ専用です。

黒いゴミ箱

生ゴミ、その他のゴミ専用です。

空き瓶は、100m先の市の専用ゴミコンテナ。

ゴミの分別は、プラスチックケースや金属など、黄色いゴミ箱に入れるものはなるべくきちんと分けて下さい。黄色いゴミ箱は無料で、他のゴミ箱が有料なので、**黄色のゴミ箱に入れるべきゴミを他のゴミ箱に入ると、ゴミ箱の入れ替えなどが必要になってしまい、家賃の値上げにつながってしまう可能性があります。**

古着と古靴



古くなった衣服と靴には専用のコンテナ（写真左）が町のあちこちに設置されています。普通空き瓶、紙のごみ専用のコンテナとは別の場所に設置されています。着なくなった古着やはかなくなった古い靴はそのコンテナに入れてください。

ここに入れられた古い衣服と靴は東欧の貧しい地域に寄付されます。古くなった衣服の場合は一度洗濯して、衣服と靴は別々にしてビニール袋などに入れてこのコンテナに入れてください。

5. 掃除に関して

WGの場合、キッチンや浴室の共同スペースは、交代による掃除となります。各個人のベランダや外側に面した窓枠の下側（ドイツ語では Fensterbank とされる）スペース、小さな鉢植えの花などを置くような部分の定期的なお掃除も必要です。

定期的に掃除をしないと、頑固な汚れとなって落ちにくくなってしまい、アパートを引っ越して出る時の(店子さん持ちの)レノビールングのコストアップとなってしまいますので、ここも定期的な掃除がお勧めです。

アパートにベランダがある場合、ベランダには雨水が流れ出て行く小さな下水口があります。その下水口を頻繁に掃除しないと枯葉やゴミなどがたまり、詰まってしまうことがあります。

もし下水口が詰まると、雨の時にベランダに雨水がたまったままの状態が続き、その水がベランダの床に染み込んでしまい、下のアパートの天井等にシミが出てしまうことがあります。その場合、多額の有償修理費用がかかってしまいます。

週に一度は下水口が詰まっていないかをご確認いただき、詰まっている時はお掃除をお願いいたします。

更に詳しい情報は、ネット de デュッセルの生活編(www.netdesumai.de)をご覧ください。